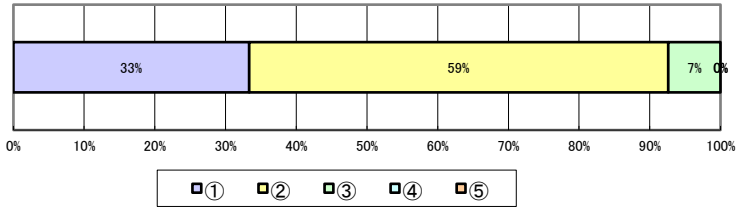
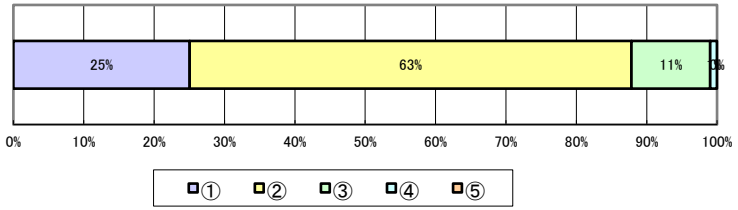
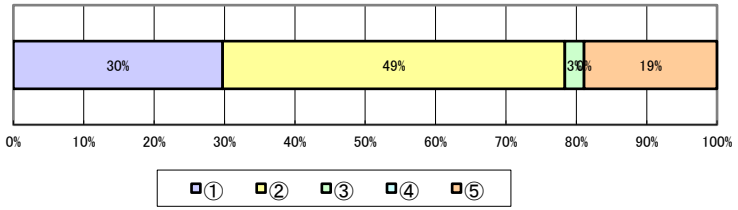
平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

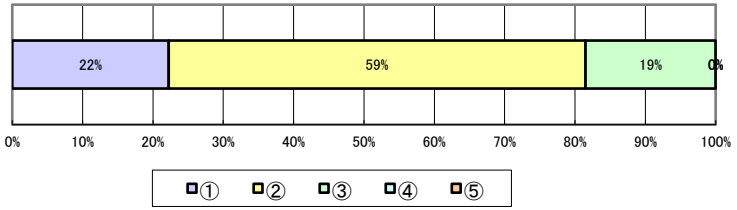
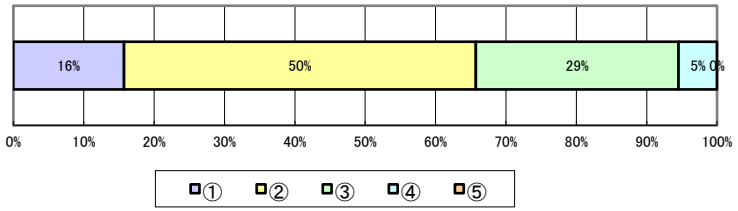
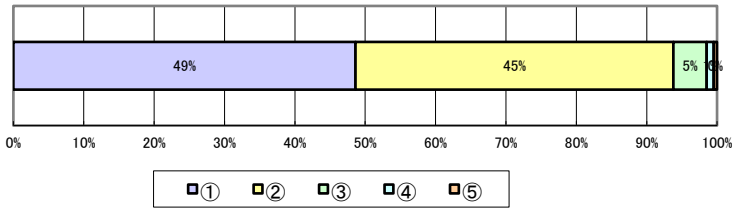
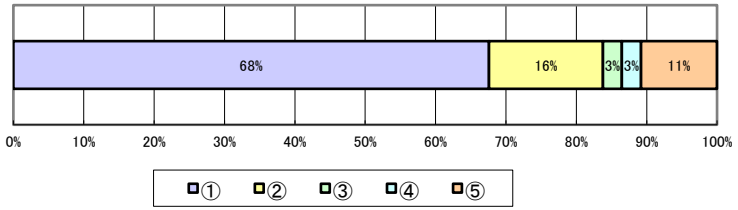
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
学校教育目標・教育方針　①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。		評価結果についての分析・課題	昨年度と比べ、教職員・保護者・地域の方ともに肯定的な回答の割合がやや減少している。「保護者や地域の実態やニーズをとらえて」という姿勢があまり伝わっていないと考えられる。
	生徒			課題解決への方策	授業参観や保護者会、地域と協働して行う行事等、様々な機会をとらえて、保護者や地域の実態を知り、ニーズを把握する努力をしていく。聞き取りの場面を増やす工夫をする。
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。		学校関係者評価委員会による評価	学校と地域の関わりが少なければ、学校の活動にも関心が薄くなってしまう。地域とのつながりを深め学校に関心を持ってもらう必要がある。校内だけでなく校外にも学校教育目標を掲示し、関心を高めることもできるのではないか。関心を持てば意見や要望も出てきやすい。
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

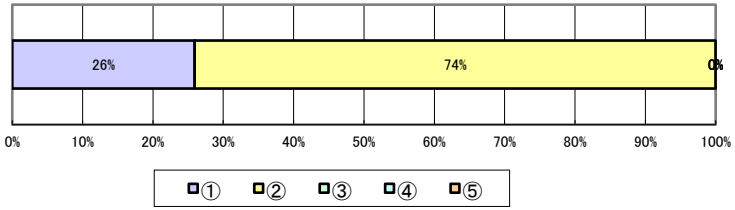
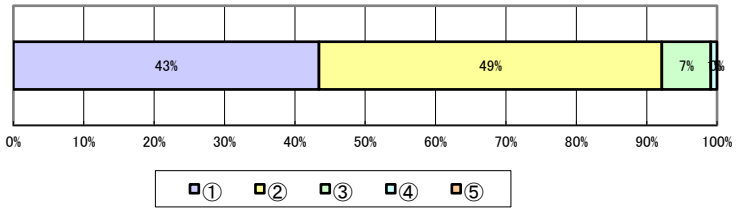
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
学校教育目標・教育方針　②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。		評価結果についての分析・課題	昨年に比べ、生徒の肯定的回答は７ポイント増加した。教室を始め校内のいたるところに学校教育目標を掲げ、意識化を図った成果と考えられる。地域の方の肯定的回答は、１０ポイント以上減少してしまった。
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。		課題解決への方策	これまでと同様に「学校だより」の発行、自治会への回覧、北市民センターでの掲示、HPへの掲載等をし、学校教育目標の周知を図っていく。また、学校教育目標を達成するための具体的な取組の様子についても発信することで、周知していく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。		学校関係者評価委員会による評価	学校だよりやホームページなどで教育目標や教育方針は周知が図られている。さらには、QRコードなども活用し、学校紹介の動画を配信したり、写真を掲載したりしてもよい。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

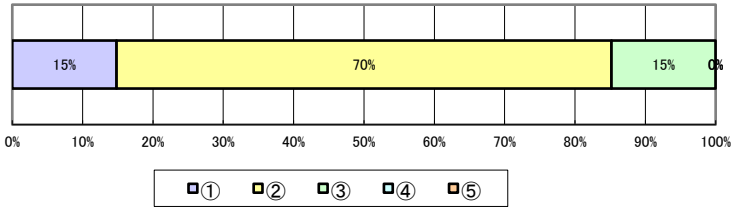
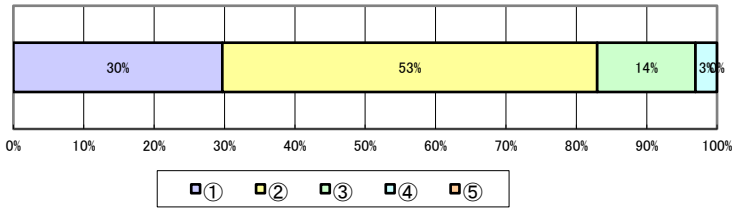
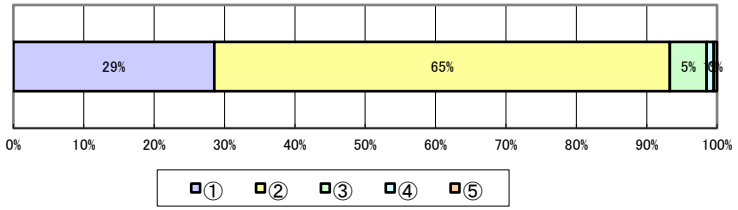
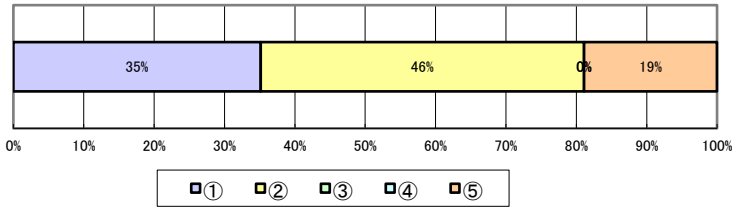
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
教育課程・学習指導　③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。		評価結果についての分析・課題	本年度は教職員の肯定的な回答が１００％になった。「学び合い学習」を取り入れた授業改善に全校で取り組んだ成果と考えられる。生徒の肯定的回答も昨年度とほぼ変わらない結果であった。生徒の肯定的回答も１００％になるように努めていく。
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。		課題解決への方策	生徒が主体的に学習に取り組むような授業の工夫をさらに進めていく。「学び合い学習」による授業改善について、今後も学校研究課題と位置づけ、取り組んでいく。
	保護者			学校関係者評価委員会による評価	ほとんどの生徒は授業に真面目に取り組み、楽しく学習をしている。教える側の教師も楽しそうで、良好な人間関係の中で授業が展開されていると感じる。教職員の回答と生徒の回答に少し差がある。「わかりやすく工夫した授業」と感じていない生徒がいることを忘れず、授業改善に更に努めてほしい。補習やサマースクールを充実させ、全員が楽しく学べるようにしてほしい。サマースクールと部活動の優先順位について教員間で意思統一を図ってほしい。
	地域				

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

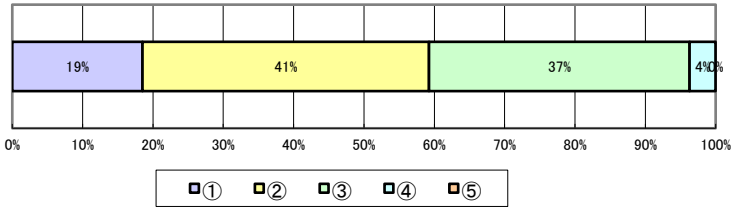
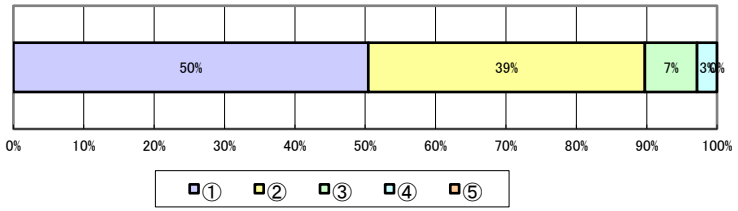
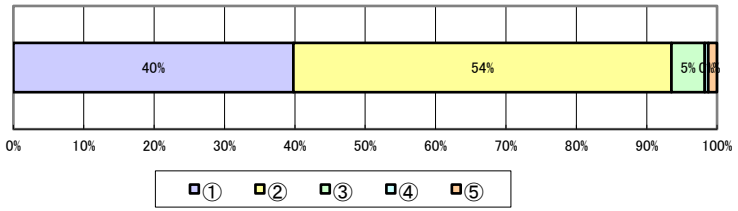
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
教育課程・学習指導　④	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		評価結果についての分析・課題	昨年度と比べて、教職員の肯定的回答は微減といった程度であるが、①の回答が３５ポイント以上減ってしまった。一部の生徒の落ち着きのない授業態度が、全体的な印象を左右していると考えられる。地域の方は「わからない」が１/５を占めている。
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		課題解決への方策	生徒にとって魅力的な授業を創造していくことで、落ち着きがあり生徒が生き生きと学習に取り組む環境を作っていく。また、授業における約束事などについても、教員・生徒・保護者の間で共通理解を図ったうえで徹底していく。地域の方には、授業参観をしていただける機会を増やしていく。
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		学校関係者評価委員会による評価	年に数回の授業参観だが、いつ見ても落ち着いてしっかり授業に取り組めている。地域の方にも学校公開の案内を回覧し、授業の様子を見てもらう機会を増やしてはどうか。
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

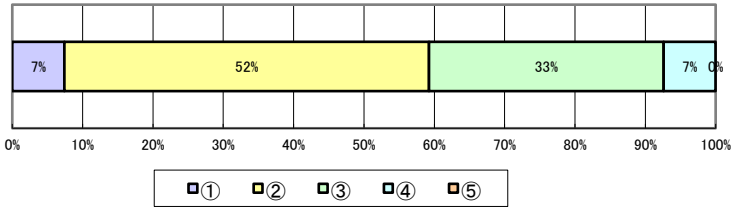
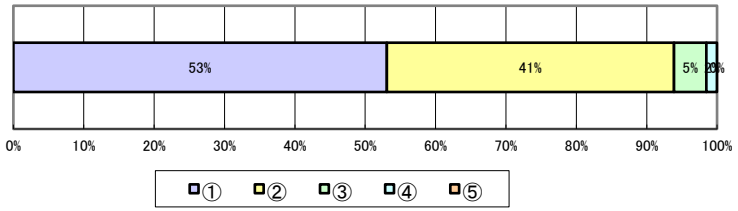
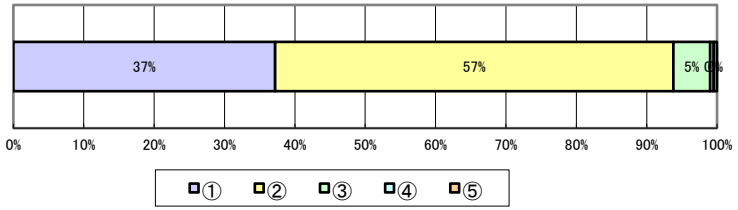
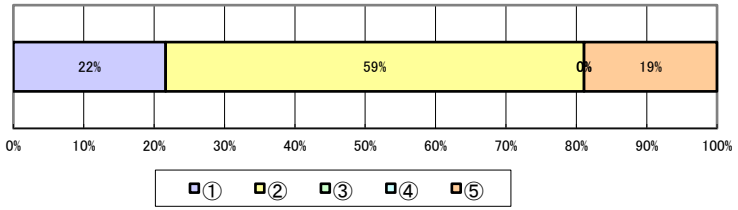
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
生徒指導・規律ある態度　⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。		評価結果についての分析・課題	昨年と比べ、生徒・保護者の回答の様子はほぼ変わりがない。肯定的回答が約９０～９５％となっており、教員の対応は概ね評価されている。教職員の肯定的回答は３０％以上下がってしまった。一部の生徒に対する対応の難しさによるものと考えられる。
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。		課題解決への方策	生徒の否定的意見を０％にすることを目指して、教職員間の情報の共有や組織的な対応を図っていく。
	保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。		学校関係者評価委員会による評価	概ね良好であると考えられるが、肯定的回答でない生徒がいることを常に忘れずにすべての生徒にとって楽しい学校づくりを目指してほしい。教員の指導方法の研修なども行う必要があると思う。
	地域				

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

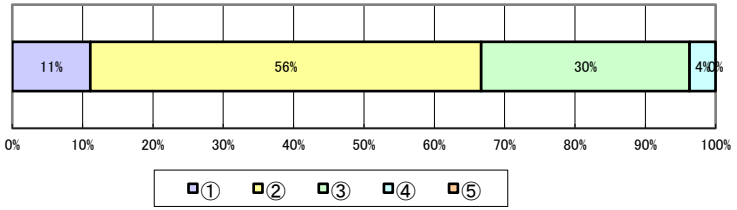
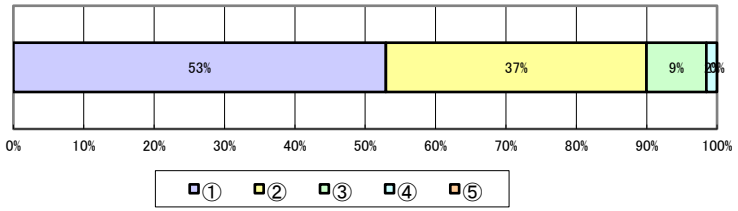
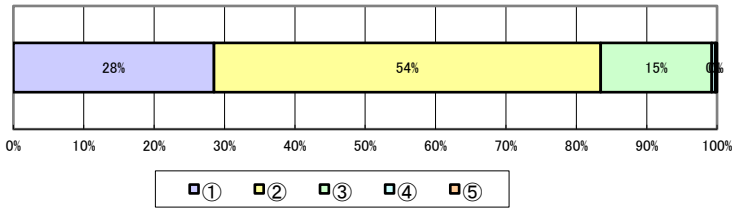
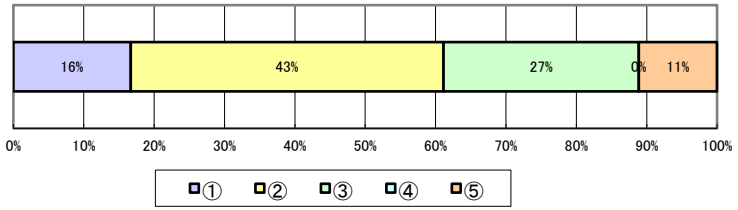
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
生徒指導・規律ある態度　⑥	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。		評価結果についての分析・課題	生徒と保護者の肯定的な回答は、昨年度とほとんど変わらず９０％以上である。生徒については①と回答した割合が５ポイント増加した。概ね良好であると考えられる。教職員の肯定的な回答は３０ポイント近く減ってしまった。決まりが守れない生徒が一部いることによるものと考えられる。
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		課題解決への方策	学校生活における決まりやルールの意義や意味について、道徳の時間や生徒会活動などの機会をとらえて考えさせ、主体的に決まりを守る態度を養っていく。
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。		学校関係者評価委員会による評価	学校内外での様子を見ても、概ねきまりを守って生活していると思う。他人に迷惑をかけないことがルールやきまりの本質なので、そのことを心に留めて生活できるように指導してほしい。
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

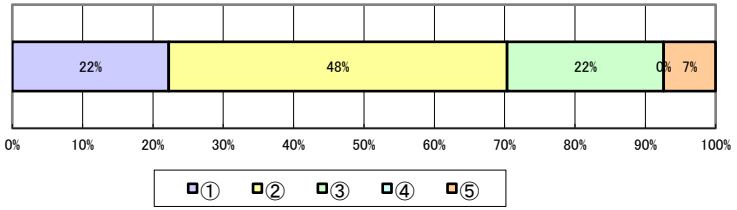
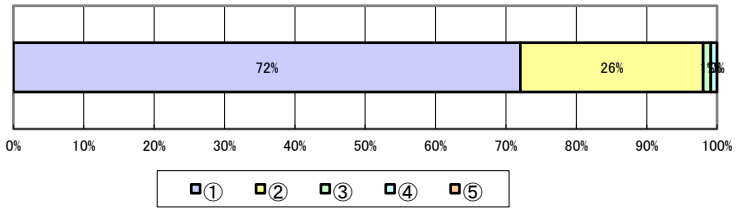
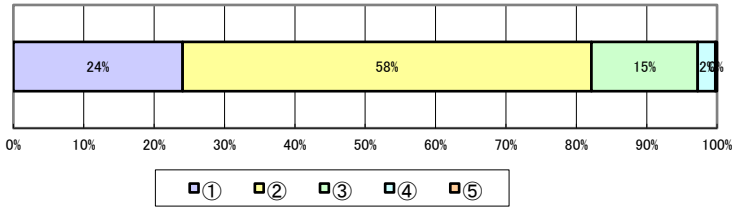
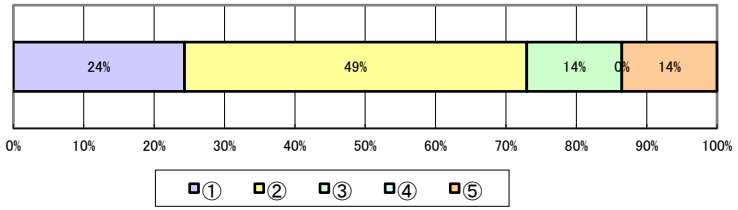
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
生徒指導・規律ある態度　⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。		評価結果についての分析・課題	昨年度と比べて、生徒・保護者の肯定的回答はほとんど変わらない。それに比べ、教職員及び地域の方の肯定的回答は、それぞれ１３ポイント、１６ポイント減少した。生徒の意識と大人の意識に隔たりがみられる。
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。		課題解決への方策	あいさつ運動などに、生徒が主体的・積極的に取り組むよう指導を充実させていく。また、小・中学校で連携したあいさつ運動なども実施し、地域にあいさつの輪を広げていく。
	保護者	生徒は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。		学校関係者評価委員会による評価	校内でのあいさつはとてもよくできているが、校外でのあいさつは少ないと感じる。よく知らない人へあいさつすることに抵抗のある年頃なのかもしれない。顔見知りになればあいさつすることができると思われるので、地域との交流の場を増やしお互いが知り合うことが必要である。小中が一緒に行うあいさつ運動もよいが、小中学生が互いにあいさつし合う習慣をつけさせたい。またそのような雰囲気が地域にまで広がると更によい。家庭内でのあいさつの習慣化も呼び掛ける必要がある。大人（教員・保護者・地域の人等）が率先してあいさつし見本となることも大切である。
	地域	生徒は、地域の人にすすんであいさつをしている。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

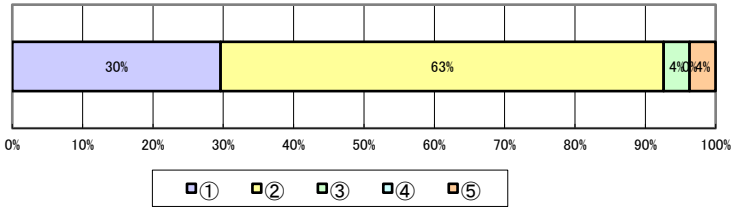
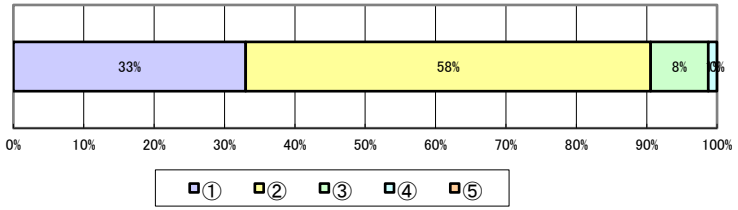
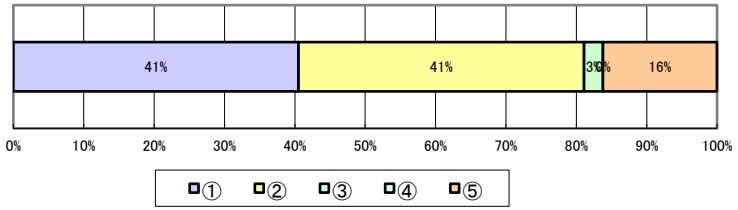
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
安全⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		評価結果についての分析・課題	昨年度と比べ、生徒の肯定的回答はほぼ変わらず９５％を越えている。それに対し、教職員・保護者・地域の方の肯定的回答は、いずれも１０～１５ポイント減少している。
	生徒	安全に、安心して登下校できる。		課題解決への方策	交通安全指導について更に充実させ、大人の目から見ても安全な登下校が行われるようにしていく。また、通学路の安全対策についても、積極的に情報を収集し行政と連携を図りながら整備する。登下校時刻についても必要に応じて見直しなどを行う。
	保護者	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。		学校関係者評価委員会による評価	登下校については日没時間や災害への対応は万全を期してほしい。不審者情報も確実に周知をし注意を呼び掛けてほしい。自分の身は自分で守る、危険を察知し回避できる力をつけさせる必要もある。中学生では自己責任の部分も大きいと思う。道に広がっての下校などをよく見かけるので、交通ルールやマナーを指導してほしい。
	地域	学校は、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

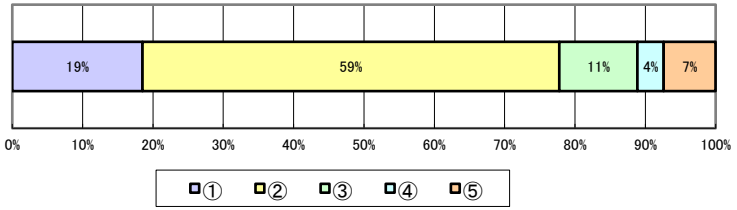
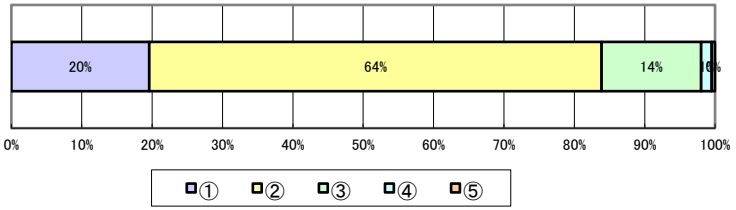
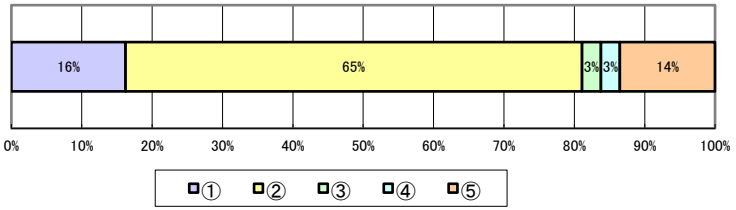
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
保護者・地域との連携　⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。		評価結果についての分析・課題	概ね良好である、地域の方の「わからない」の回答が１/５ほどあるが、０％になるように努めていく。
	生徒			課題解決への方策	これまで同様、「学校だより」の発行やHPへの掲載等により、学校の現状や取組を積極的に発信していく。地域の掲示板なども自治会と連携しながら活用の方法を探っていけるとよい。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。		学校関係者評価委員会による評価	概ね良好と考えられるが、地域に対しての発信がやや弱いともいえる。自治会の掲示板の活用も考えられる。日光街道清掃など地域の者と中学生が一緒に行う活動を通して、子どもたちの様子や学校の現状、取組が伝わってくる。地域に中学生がどんどん出て行ってボランティアや手伝いをするなどの取組が増えるとよい。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

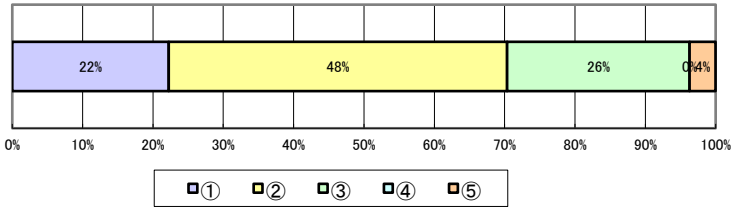
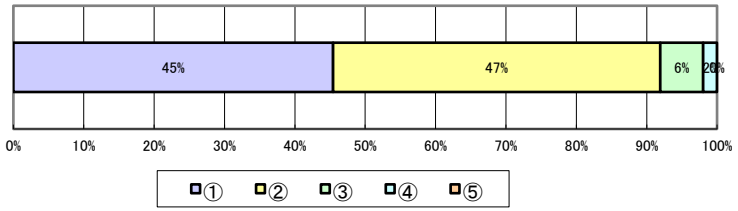
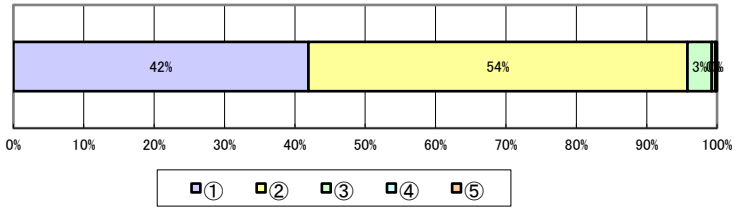
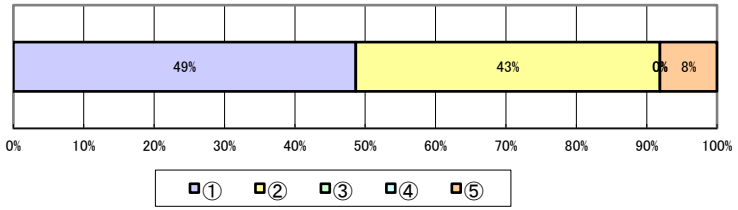
評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
保護者・地域との連携　⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。		評価結果についての分析・課題	保護者については肯定的回答の割合はほとんど変わらない。しかし、教職員・地域の方については、１０ポイントほど減少している。地域人材の活用について、地域と連携しながら積極的に取り組む必要がある。
	生徒			課題解決への方策	学校が求めるものと、地域の方に提供いただけるものとマッチングする方法について工夫していく。そのために学校における情報収集や地域人材の活用についての意識化を図っていく。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。		学校関係者評価委員会による評価	鶴ヶ島は人材が豊富な地域で、様々な専門的な知識や技術を持った人が多数いる。学校の必要とする人材を明確にし地域に発信すると協力が得られると思われる。学校のいろいろな教育活動に講師として招くのもよいのではないか。
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。			

平成２９年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

評価結果：①そう思う　②だいたいそう思う　③あまりそう思わない
④そう思わない　⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。		評価結果についての分析・課題	生徒・保護者・地域の方の評価は、肯定的回答が９０％以上を占め、概ね良好である。教職員については、肯定的回答が３０ポイントも減少した。環境美化・整備について考えていく必要性を感じる。
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。		課題解決への方策	清掃や美化活動について、生徒が自ら進んで行うような指導を工夫し、取組を充実させていく。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。		学校関係者評価委員会による評価	授業参観で校舎内を巡っている際にも、校舎内は清掃が行き届いていてきれいだと感じる。壁や天井のシミや雨漏りの跡、教室の掲示板の剥がれなどは修繕をしてほしい。きれいで整った環境の中で楽しくのびのびと学校生活を過ごしてほしい。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。